

一からわかる再配置



H30.12.18

Vol.59

公共施設の再配置に関連する基本的な情報をお知らせします。

前号に続いて

前号では、財政状況等がよく似たまちと本市を比較して、厳しい財政状況の中で、中学校給食をはじめとする新規事業に充てる財源をどのように捻出するかのヒントを探ってみました。結びでは、埼玉県や千葉県には、本市と財政状況等が似たまちが他にもあると触れましたが、今号は、千葉県内で中学校給食を実施しているよく似た自治体から、ヒントを探りたいと思います。

よく似たまち②

そのまちは、新宿駅からJR線で1時間、「千葉県我孫子市」です。前回同様、本市と比較するために、主要な指標をまとめたものが下の表です。人口規模は約3万人違うものの、狭山市と同様、よく似たまちだということがわかります。



違いが目立つものとしては、将来負担比率が挙げられます。市民一人当たりの市債残高は、秦野市より

3.4万円多くなりますが、基金残高も1.9万円多いことや、債務負担行為をはじめとする市債以外の負担が少ないことから、我孫子市ではマイナスとなっています。財政が厳しい状況にある中でも、極力将来の市民の負担を増やさないようにする行財政運営が行われているまちといえると思います。

次に、狭山市と同様、歳出目的別決算額を比

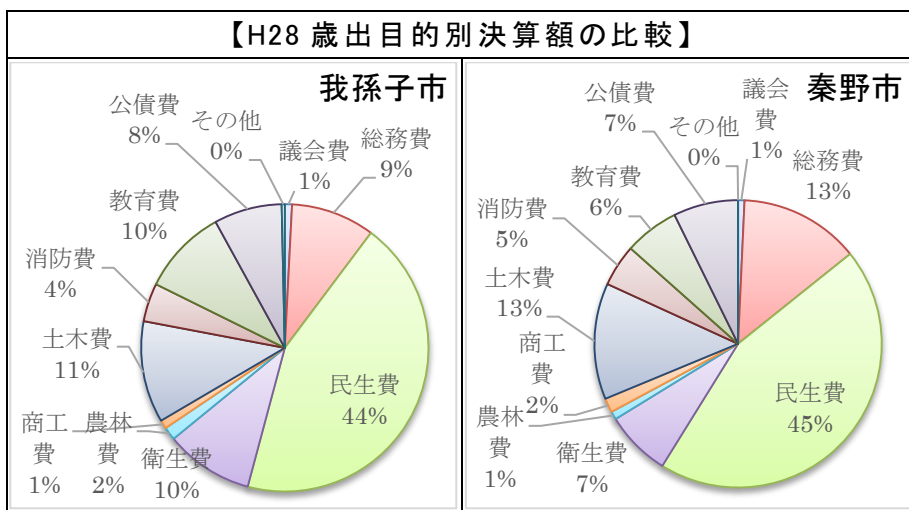
較してみます。次ページのグラフのとおり、よく似ていますが、本市は、我孫子市よりも総務費が4ポイント高く、逆に衛生費が3ポイント、教育費が4ポイント低くなっています。

指標 ¹	我孫子市	秦野市
人口(H29.1.1住基)	132,619人	162,809人
可住地面積	39.93Km ²	49.72Km ²
可住地人口密度	3,321人/Km ²	3,275人/Km ²
歳入総額	389.1億円	494.5億円
財政力指数	0.84	0.90
実質公債費比率	1.3%	3.4%
将来負担比率	－%	31.7%
経常収支比率	96.4%	99.0%
〃(臨財債除く)	104.2%	105.6%
市民一人当実質歳入	28.8万円/人	29.7万円/人
市民一人当市債残高	23.6万円/人	20.2万円/人
市民一人当基金残高	4.6万円/人	2.7万円/人

※決算関係の数値は、平成28年度の数値

¹ 各指標の解説は、前号を参照してください。

衛生費の大きな違いは、我孫子市には「手賀沼」があり、組織にも「手賀沼課」があるなど、その保全や活用に関連する支出が4.5億円あること。また、クリーンセンターを単独で運営していること

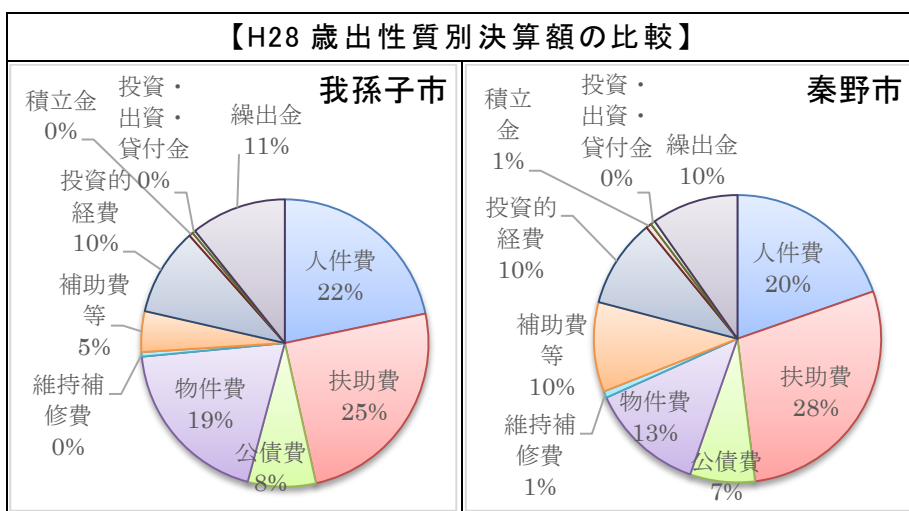


あると思われます。総務費と教育費の違いは、本市では総務費に含まれる文化・スポーツ関連の支出が、我孫子市では教育費に含まれることが大きな理由です。狭山市では、民生費への支出の差を見出すことができましたが、我孫子市では、明確な差を見つけることはできませんでした。

未知のヒント②

続いて、歳出性質別決算額も比較してみます。

我孫子市では、補助費等の割合が低くなりますが、クリーンセンターに対する分担金がないことが主な理由と思われます。人件費、物件費の



割合が多いのも、理由の一部はそのためでしょう。また、狭山市と同様に、本市よりも扶助費の割合が低くなります。やはり、中学校給食の実施に当たっては、扶助費の抑制は、避けて通れないのではないのでしょうか。

また、「委託」という視点で見ると、我孫子市で指定管理が行われているのは、8施設です。市民体育館など規模の大きいものも含まれますが、狭山市ほどの多さではありません。しかし、市のすべての事業に対して、委託業務の中身を民間事業者から提案してもらう「提案型公共サービス民営化制度」という特徴的な取り組みが行われています。平成29年度には、公共施設の管理運営関係で5件の提案があり、うち3件が採用されています。億単位での効果をすぐに生むことはできないかもしれませんが、厳しい財政状況の下で中学校給食を実施しているまちから、また一つヒントをいただきました。

今年の発行は、最後となります。1年間ご愛読ありがとうございました。

